

スローテンポ通信

第 31 号

2020年1月18日

発行:スローテンポ書店

〒323-0023 小山市中央町3-7-1 ロブレ地階

☎ 0285-32-7211

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

ベストセラーばかりが面白いとは限らない



スローテンポ書店

営業: 火~土 13時~19時

日月祝日休み

☆ 今月のおすすめ

○ 『切断ヴィーナス』

越智貴雄撮影

白順社 2014年 2200円+税

☆☆☆☆

この本は、11人の切断ヴィーナスとフォトグラファー、義肢装具士、それに多数の協力者によって誕生した。

現代芸術が巨大資本の利益追求によって翻弄される時代に、訴えたいことを身近な題材を工夫して訴える。そして訴えたいことがきちんと伝わってくる。パラリンピックで騒いでいるメディアを空虚に感じる。

○ 『父さんはどうして

ヒトラーに投票したの?』

文:ディディエ・デニング、絵:PFE、

訳:湯川順夫、戦争ホーキの会
解放出版社 2019年 1800円+税

☆☆☆☆

子どもにも大人にも、今の日本を考えるとときに大切なことを気付かせてくれる。著者も気付いていないようだが、お母さんがきちんと発言できていたら、不幸は避けられたかもしれない。



正しく伝えて人とつながる
実用文教室

伝えたいことを伝えたい人に、最も正確に伝えられるのが文章です。

①まず、誰が誰に何を伝えたいのかを話し合って確認します。

②その次に、参加者が書いた文章を持ち寄って、言いたいことがきちんと伝わってくるかどうかを述べ合います。

木曜日午後3時~5時

参加費は資料代含めて、1回500円。

愛情ホルモンガスで 世界を平和にする

日曜日の朝、寢床から出ないでポケーとしていたら妄想がふくらんだ。

愛情ホルモンを100万倍に濃縮し超小型ドローンに搭載して紛争地に飛ばす。同時に数万個を飛ばせば、いくつかは到達する。いずれ打ち落とされるが壊れるとき愛情ホルモンを放出する。

戦闘中の兵士たちはガス状になった愛情ホルモンを吸う。吸った兵士は、人間がいとおしくてたまらなくなる。相手軍兵士のことを、まるでわが子のように無性にいとおしくなり攻撃をやめる。戦闘はおさまり皆がよろこぶ。これをくり返せば、紛争はおさまり世界が平和になる。

不毛の論戦を繰り返している国会にも、ドローンを飛ばして愛情ホルモンを浴びせたら、国会も有意義な議論をするようになるだろう。

墮落した政治家たちに限らず、巷に繁殖する詐欺師たちにも有効だろう。悪人が善人になり、住みやすい社会になる。

子を生んだ母親は、わが子が無性にいとおしくなる。オキシトシンというホルモンが急速に分泌されるからだと言われる。愛情ホルモンとは、このオキシトシンのことだ。

愛情ホルモンはすでに製品化され、スプレー缶に詰められ販売されている。

その効果を実証しようとして研究者たちが治験を組んだ。その結果、これをスプレーすると、人は警戒心がうすれ騙されやすくなるということが示された。

真面目な人にとって愛情ホルモンは返ってマイナスかもしれない。この社会は、人をうまくだまして利益を追求することが当たり前のように容認されているからだ。これが必要なのは、やはり他人をだます人たちだ。

愛情ホルモンは母親に限らず父親にも分泌される。子供の笑顔を見たときやスキンシップなどで上昇する。

いつも顔を合わせている自分の女房も、あるときは憎たらしいが、無性にいとおしくなるときがある。そんなときは愛情ホルモンが分泌されている。

愛情ホルモンがあるなら、人を憎らしくさせるホルモンもあるに違いない。それを攻撃ホルモンと呼ぼう。

人は、子どもの笑顔を見たときや、相手に愛情を感じたときに、自然に愛情ホルモンが分泌され、相手をいとおしく感じる。逆に、だまされたり攻撃されると、攻撃ホルモンが分泌され攻撃的になる。人類は、進化の過程でそんな心と体の仕組みを獲得して今日まで生き延びてきた。

日本は先の敗戦と米軍による占領から、米国の考え方を取り入れ、個人の欲望追求を奨励するようになった。

みな欲求追及に走ると、競争が生まれる。競争は早い者勝ちだから、人々に余裕がなくなる。おとく情報を求めて奔走する。他人をライバルか敵か、あるいは餌食としか見なくなる。

そんな社会では、攻撃ホルモンは勝利につながり愛情ホルモンは敗北を招く。賛同を求めて笑顔をつくるが、脳では攻撃ホルモンが増えている。社会はますます生きづらくなる。

夫婦喧嘩が始まったら、愛情ホルモンをスプレーしようというのではない。愛情ホルモンはスキンシップで、と主張したいのでもない。

人は誰でも、誰かと共に過ごしたい。そして人と人とはつながっている。この当たり前のことを、欲求追求社会は忘れさせようとする。

訴えたいのは、人と会話し本を読んでそのことを改めて再確認すれば、愛情ホルモンに満ちた平和な社会が実現するということだ。

しかし、紛争の現場や、犠牲者を増やし続ける政治家たちには、すぐに効果の出る愛情ホルモンガスがあればいいなあと思つづく思う。

N

(ブログ記事より抜粋)



どなたも歓迎 懇話会

社会参加の第一歩は人との対話です。

☆前半は、参加者から話題を提供してもらい、後半は、出てきた話題から、共通課題を設定し、参加者全員で話し合います。

☆スローテンポ書店は、ディベート型の議論や自慢話披露型のおしゃべりを卒業して、課題解決型の話し合いを提唱しています。

水曜日午後5時~7時、参加無料。